

# 幼稚園教育実習事前事後指導

## 概要

幼稚園教育実習 に臨むにあたり、実習の目的や内容、方法などを理解し、実習日誌の書き方について学ぶ。また実習後は、実習で体験し学んだことを整理して確認し、幼稚園教諭の役割や幼児の発達にかかわる援助のあり方に関する基本的事項を理解する。

担当教員	堺秋彦 長谷川美香
授業形態	実習
学期	通年
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育コース1年～2年
時間数	90分×15回
単位数	1

## 目標

実習の目的や内容、方法などを理解し、実習日誌が書けるようになる。

実習で体験し学んだことを整理して確認し、幼稚園教諭の役割や幼児の発達成長にかかわる援助のあり方に関する基本的事項を理解することができる。

## 各回の内容

1. 幼稚園についての基本的な理解
2. 観察・参加実習の目的、内容、方法などの理解
3. 観察・参加実習の目的、内容、方法などの理解
4. 実習日誌の書き方についての指導
5. 実習日誌の書き方についての指導
6. 実習日誌の書き方についての指導
7. 実習に際しての留意事項
8. 実習の体験の発表と共有化
9. テーマに基づいた話し合い
10. テーマに基づいた話し合い
11. 実習日誌の書き方についての事後指導
12. 実習日誌の書き方についての事後指導
13. 実習の反省と自己課題の発見、今後の取り組み
14. 実習の反省と自己課題の発見、今後の取り組み
15. まとめ

## 準備学習

配布資料を熟読し、観察の視点や実習日誌の書き方について理解する。

実習後は、体験を通しての学びや幼稚園教育実習 に向けての課題・目標を明らかにする。

## 評価方法

各回の振り返り30%、課題及びレポート50%、提出物(実習日誌等)20%

## 教科書

久富陽子編著『学びつづける保育者をめざす実習の本』萌文書林 2014年

## 参考文献

なし

# 幼稚園教育実習

## 概要

本科目は、実習の最初の段階として位置づけられる。現場における保育の実際を観察し、保育に参加することによって、幼児を理解し、保育環境を体験的に学ぶことを目的とする。

担当教員	堺秋彦 長谷川美香
授業形態	実習
学期	集中
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育コース1年
時間数	5日間
単位数	1

## 目標

幼稚園での保育を経験し、幼稚園教諭となるための自覚や基本的な態度を身につけることができる。

## 各回の内容

1. 10月に実習園において5日間、教育実習を行う。

## 準備学習

今まで履修した授業の内容や資料等を振り返り、観察の視点を明確にもつ。

## 評価方法

実習先の評価70%、実習日誌の記録内容30%

## 教科書

なし

## 参考文献

なし

# 幼稚園教育実習事前事後指導

## 概要

幼稚園教育実習 に臨むにあたり、実習の目的や内容、方法などを理解し、実習日誌の書き方について学ぶ。また実習後は、実習で体験し学んだことを整理して確認し、幼稚園教諭の役割や幼児の発達にかかわる援助のあり方に関する基本的事項を理解する。

担当教員	堺秋彦 長谷川美香
授業形態	実習
学期	通年
必修・選択の別	必修
対象学生	こども保育コース1年～2年
時間数	90分×15回
単位数	1

## 目標

実習の目的や内容、方法などを理解し、実習日誌が書けるようになる。

実習で体験し学んだことを整理して確認し、幼稚園教諭の役割や幼児の発達成長にかかわる援助のあり方に関する基本的事項を理解することができる。

## 各回の内容

1. 幼稚園についての基本的な理解
2. 観察・参加実習の目的、内容、方法などの理解
3. 観察・参加実習の目的、内容、方法などの理解
4. 実習日誌の書き方についての指導
5. 実習日誌の書き方についての指導
6. 実習日誌の書き方についての指導
7. 実習に際しての留意事項
8. 実習の体験の発表と共有化
9. テーマに基づいた話し合い
10. テーマに基づいた話し合い
11. 実習日誌の書き方についての事後指導
12. 実習日誌の書き方についての事後指導
13. 実習の反省と自己課題の発見、今後の取り組み
14. 実習の反省と自己課題の発見、今後の取り組み
15. まとめ

## 準備学習

配布資料を熟読し、観察の視点や実習日誌の書き方について理解する。

実習後は、体験を通しての学びや幼稚園教育実習 に向けての課題・目標を明らかにする。

## 評価方法

各回の振り返り30%、課題及びレポート50%、提出物(実習日誌等)20%

## 教科書

久富陽子編著『学びつづける保育者をめざす実習の本』萌文書林 2014年

## 参考文献

なし